

## 三井住友銀行と「ESG/SDGs 評価シンジケートローン」融資契約を締結

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、株式会社三井住友銀行（以下、三井住友銀行）との間で「ESG/SDGs 評価シンジケートローン」融資契約を9月28日に締結しました。

「ESG/SDGs 評価シンジケートローン」は三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（以下、日本総研）が作成した基準に基づき、顧客の ESG や SDGs の取り組みや情報開示の状況进行评估する金融商品であり、その ESG/SDGs 評価結果に賛同いただいた複数の金融機関によって組成されています。

日本総研による ESG/SDGs 評価において、当社は気候変動への対応や顧客に対する誠実さ、企業理念・サステナビリティへのコミットメントにおいて非常に高い水準であると評価されました。また、ESG 経営に関する優れた取り組みや情報開示、事業を通じた SDGs 貢献意欲についても高い評価を頂き、今回の融資契約締結にいたしました。

### <主な評価ポイント>

<p>E (環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の事業活動に伴う環境負荷（温室効果ガス）を削減するため、「2030 年度に 50%削減（2013 年度比）」、「2050 年度カーボンニュートラル」という中長期の目標を掲げ、再生可能エネルギーを積極的に自家利用していること。</li> <li>・xEV に使用される電子材料等の販売拡大や CO<sub>2</sub> 回収技術（CCUS(*1)）、プラスチックを循環利用するケミカルリサイクル技術等、気候変動対策に資する技術開発を促進していること。</li> </ul>
<p>S (社会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員への配慮として、働き方改革を進めるとともに、ダイバーシティを経営上の重要課題と位置付けて推進していること。</li> <li>・事業を通じた社会的課題解決の取り組みとして、感染症治療薬への原料供給や抗原迅速診断キットの提供を行っていること。</li> <li>・「品質方針」を策定し、品質マネジメントシステムの認証取得や品質保証体制の整備、顧客満足度調査等を行いながら、品質面での継続的な改善に努めていること。</li> </ul>
<p>G (ガバナンス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画において、「環境 Value-Up」「人財 Value-Up」等を掲げ、温室効果ガスの排出削減に向けた数値目標やダイバーシティ経営の推進等に取り組む意欲を示していること。</li> <li>・統合報告書でも、社会的課題解決の取り組みと企業価値向上の両立に向けた道筋や、自社の事業活動に係る ESG 関連の潜在的リスク（気候変動や海洋プラスチック問題等に関するリスク）を具体的に開示していること。</li> </ul>
<p>SDGs</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの自家利用やCCUS 等の技術開発を通じて、気候変動対策（目標13）等 に貢献していること。</li> <li>・ケミカルリサイクル事業を通じて、材料の再資源化の促進（目標12）に寄与することが考えられるところ。</li> </ul>

当社は世界が直面する課題に対し社会的責務を果たすべく、昨年11月に2050年度カーボンニュートラル実現を目指すことを宣言しました。今年4月には、これまで展開してきた社員と家族の健康保持・増進の取り組みをさらに発展させた「健康経営宣言」を制定しています。また、当社が遂行する社会的責任を果たすための企業活動を網羅的かつタイムリーにお伝えすべく、ESGに関する一層の情報発信の強化を図るため、2020年4月から「ESG情報サイト(\*2)」をリニューアル開設し、情報発信に努めております。

当社は、デンカグループ全体の変革と連携をさらに深め、デンカでなければできない方法で、SDGsを羅針盤に、様々な社会課題の解決に挑戦し、真に社会に必要とされ「社会にとってかけがえのない存在となる企業」を目指してまいります。

以上

(\*1) CCUS (Carbon Dioxide Capture, Utilization and Storage／二酸化炭素回収・有効利用・貯留)

プラントで発生する排ガスに含まれるCO<sub>2</sub>を他の成分と分離して回収し、大気への放出を防ぐ技術。回収したCO<sub>2</sub>は、地中や海底に貯留する他、化学品や燃料を作るための原料として再利用する等の検討が官学共同で進められています。当社も産業技術総合研究所と共同で開発に取り組んでいます。

(\*2) ESG情報サイト <https://denka.disclosure.site/ja>

本サイトはデンカグループのESG経営情報（環境・社会・企業統治）を網羅的にステークホルダーの皆様に発信することを目的としています。

【ご参考：本件に関する過去プレスリリース（当社ホームページ）】

- ・2021年4月1日「健康経営宣言」を制定  
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/840/20210401\\_denka\\_health.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/840/20210401_denka_health.pdf)
- ・2021年3月26日「環境融資評価で最上位スコア“AA”を取得し、「Mizuho Eco Finance」契約を締結  
～2050年カーボンニュートラル実現の一環として、新たに産総研とCCUS共同研究を推進～」  
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/835/20210326\\_denka\\_ecofinance.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/835/20210326_denka_ecofinance.pdf)
- ・2021年1月29日「新青海川発電所送電開始のお知らせ  
～2050年のカーボンニュートラル実現に向けクリーンエネルギーの利用を拡大～」  
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/813/20210129\\_denka\\_shinomi.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/813/20210129_denka_shinomi.pdf)
- ・2020年11月25日「2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、環境経営を強化  
～「エコプロ Online2020」にて、独自の取り組みを紹介～」  
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/792/20201125\\_denka\\_carbon0.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/792/20201125_denka_carbon0.pdf)
- ・2020年9月14日「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明  
～持続可能な社会の実現に向けた取り組みと情報開示を強化～」  
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/764/20200914\\_denka\\_tcf.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/764/20200914_denka_tcf.pdf)
- ・2020年4月13日「ポリスチレン樹脂のケミカルリサイクルの事業化に着手」  
[https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/718/20200413\\_denka\\_ps\\_chemical\\_recycle.pdf](https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/718/20200413_denka_ps_chemical_recycle.pdf)

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5071